

当日は、猛暑に加え、沢の入溪までの状況が上部まで沢の崩壊が進み幾重にも砂防ダムの工事が行われ、工事道路も上部が伸びており、結果として、猛暑の中、ここを歩くことになってしまいました。

沢は伏流部が多く水流に乏しく、大木が崩れ落ちている部分もあり、ナメタキが連続する割には、さわやかさに欠ける感がありました。

左俣の右沢をつめて稜線に出たのが 16 : 35、出発から 8 時間を要しました。